

令和8年3月議会では、補正予算の「プレミアム商品券」について市民クラブ未来として反対しました。

これは国の支出による1億1千万円を30%のプレミアム分として付加した商品券を販売するもので、従来からも行われていますが、物価高騰の影響が強まるなか、どのような形で市民に幅広く還元するか、選択肢を揃えて検討したとは言えず、現実的に水道料金補助などもあり得るものであるため、検討不足を指摘しつつ反対したものです。

一般質問では、市としての立場をきちんと整理共有すべきものとして、「PPP/PFIの具体的候補事業を抽出すること」「企業版ふるさと納税で特に人材派遣型の追求」「DX能力を人材育成の柱に加えること」などを主張しました。今後の自分なりの政策主張の一環としてさまざまな機会でも主張を続けていきます！

新しい蓮田の未来を創ります！

# 市民クラブ未来

蓮田市議会報告

2026.4月号  
Vol.12



会派代表 2期

はたくに お

蓮田市馬込1-350-8  
TEL・FAX:048-764-0998

建設経済委員会委員  
議会運営委員会委員



3期

菊池 よしひと

蓮田市大字蓮田1032-5  
TEL・FAX:048-768-8381

議会運営委員会委員長  
総務委員会委員



2期

斎藤 斉

蓮田市東1-4-21  
TEL・FAX:048-768-4308

建設経済委員会委員  
埼葛斎場組合議会議員



1期

武藤 やすし

蓮田市大字黒浜3110-35  
TEL・FAX:048-764-2662

民生文教委員会委員  
蓮田白岡衛生組合議会議員

## 農業振興政策について

**質問** 地域計画を踏まえた市の農業政策における課題は。

**答弁** 農業者の担い手不足、農地の集約と利用者の確保などの懸案について農業者自身が10年後の事業のイメージができておらず、先の計画が立てにくいことが課題の一つと考えます。

**質問** 耕作放棄地となる可能性のある農地は何haで、それへの対応計画は。

**答弁** 現時点の把握は76haだが今後の可能性を数値化することは困難です。荒廃化する前に担い手を確保できるよう協議していきます。

**質問** 市の農業の担い手を個の農家から共同経営体に移行することは社会的趨勢だが、市主導での経営体設立や受け皿法人の創設を検討しているか。

**答弁** 市主導での事業創設は他市町の先進事例を参考に調査研究を行っていきます。

**質問** 市長として蓮田市の今後の農業の方向性と市としての役割について伺う。

**答弁** 高齢化、担い手不足を解決する手立ては簡単に見つけれませんが、これほどこの自治体も同様です。スマート農業、作物ブランド化などを進め、魅力ある稼げる農業を作っていくことが大事だと考えており、市としても個人・関心ある法人・企業への支援は惜しまないつもりです。

蓮田市の現在の農業政策は地域計画の完成が一つのゴールになっており、10年後の農地の事業担い手をどう維持補成するかについて、まずは農家の方々の意向や農家同士・団体の調整に委ねるだけで、市が主導して全体像を描き、導く姿にはなっていません。

他市事例を参考に、耕作放棄地や荒廃農地を生まないため市が農家や経営体の方々と伴走し、必要な対策を講じる必要があります。

## 令和8年度以降の施策推進の考え方について

**質問** 令和8年度以降にPPPをはじめとする民間力を導入することについて、事業検討における市としての方針は。

**答弁** 公共施設の整備においては民間活用のDB（デザインビルド）、DBO（デザインビルトオペレート）方式を有効な基本手法の一つとして認識し、事業検討への反映について準備しています。

**質問** 令和8年度中にPPPモデル事業の選定や組織横断の実施案件抽出チームを動かすことなどを行ってはどうか。

**答弁** 令和8年度から公共施設等総合管理計画、個別施設計画の再構築を進める予定であり、その中で手法の一つとして検討していきます。

**質問** 税外収入確保ではまず企業版ふるさと納税人材派遣型の獲得に注力してはどうか。ここで来てくれた人材を活用し、その企業も巻き込んで新たな事業の構築も可能になると考えるが。

**答弁** 有力な手法の一つと考えるますが現時点では調査・研究をしていく段階です。

**質問** 今後市の人材育成基本方針に時代のニーズを反映し、政策立案力、DX対応力という要素を盛り込んではいかがか。

**答弁** 現行方針でもそれら要素は一部盛り込んでいますが、DX時代を担う人材育成の視点は次回基本方針見直しの際に研究したいと思います。

**質問** 災害時の救助体制はまず皆で救う共助、それが無い場合は自助が基本とのことだが、自治会等が機能せず共助の体制が機能しない空白エリアでの最低限の仕組みの構築はどうするのか。

**答弁** 市の責任としては自主防災組織の創設育成を行うことで果たされていると考えております。



## 武蔵やすしの主張

我々市民クラブ未来はこの3年間、多くの市民の声として、公共施設・学校などの施設整備を要求してきましたが、市は「お金がない」との不誠実な答弁に終始しました。以下に武蔵やすしがこれまで行った一般質問のやり取りを載せます。



### 実施事業と財政指標・財源について（令和6年12月議会、令和7年12月議会）

**質問** どの事業を実施するかを判断する具体的な要素は。

**答弁** 順位決定の規定等はなく、事業の意義を踏まえ市長の総合的な考えのもと判断しています。  
(注やるやらないは市長の考え次第ということです)

**質問** 予算規模を制約するような財政指標はあるのか。

**答弁** 事業費総額の制約につながる財政指標は設定していません。

制約がないのになぜ必要な事業が予算化されないか、説明できていません。

**質問** 市財政の健全性と市民の幸福は両立できないことについてどう考えるか。

**答弁** 起債しなければ財政指標はよくなるが、その分市民サービスの向上が見込めず市民の幸福度が上がらないと考えられます。財政健全化の指数にかかわらず必要な事業は起債してでも実施する考えです。

**質問** 予算編成時に適債性がある事業でフルに起債していなかったものがどれくらいあるのか。

**答弁** 起債するのが基本ですが、事業費が少ないものは起債していないものもあります。それらの全体額は把握していません。

**質問** 財源がなくとも地方債を起債して行うべき事業を幅広く認識・検討し、財政指標が許す中でもっと積極的に実行する考え方を持ってはどうか。市長の考えは。

**答弁** 財政の維持に責任を持って事業を行っており、災害など万が一の事態にも対応できることを考えると一定レベル(標準財政規模の12~15%、10億円程度の財政調整基金等)の備え・蓄えも必要になります。市民のニーズの中核がどこにあるのか見極め、市政の持続性・安定性を考えて財政を運営していきます。



### 税外収入について（令和7年9月議会）

自治体では得られた税収増がそのまま市の収入増にはならず、基礎財政収入が増えると地方交付税が減額されるため収入金額がかなり目減りしてしまいます。一方ふるさと納税など税外収入の多くは基礎財政収入に参入されないため、市の財政改善への効率が良いことから、ここに焦点を当て蓮田市としての取り組みについて質問しました。



**質問** 図書館や市役所周辺へのカフェ等の誘致など、市民の憩いをもたらす「公民連携施設」の検討は。

**答弁** 現時点では民間からの提案はなく検討は行なっていませんが、住民利便の向上や地域活性化の観点から研究していきます。

**質問** 広告媒体として文化スポーツ施設、市庁舎、公園等をもっと活用してはどうか。

**答弁** 場所や内容の規制などを検討しながら、広告収入の確保に向け検討を進めていきます。

**質問** ふるさと納税において、コスモス祭りなど「映える」場でコスプレイベントを行うとか、酒蔵見学や飲み比べ体験などを返礼品として提供するなど、「コト経験」を活用する検討は。

**答弁** 飲み比べ体験などは検討したもののコロナ禍等があり実現していません。現在、スポーツ体験型のふるさと納税について事業者との交渉を進めています。

上記の質問と答弁を見ても分かる通り、市にお金がないことの証明もしようとしませんし、何を優先して行うかの基準もなく要は市長の胸先三寸ということもわかります。そして財源を補うための努力、例えば交付金が出る地方債の発行や税外収入の確保の努力も不十分です。

**市民クラブ未来として、このような財源と事業の閉塞状態を改めるため、議会と執行部の力関係のあり方などを抜本的に変えていく必要を感じ、これに注力する決意です。皆様のさらなるご理解・ご支援をお願いします！**